令和4年9月

結城市教育委員会定例会議事録

結城市教育委員会

令和4年9月結城市教育委員会定例会

- 日 時 令和4年9月26日（月曜日）
- 場 所 結城市役所 大会議室2
- 出席委員 黒田光浩教育長
岩崎勤委員（教育長職務代理者）
中村義明委員
赤木信之委員
田中昌希委員
- 教育委員会事務局
教育部長 飯田和美、
学校教育課長 大木博、生涯学習課長 斉藤伸明、
スポーツ振興課長 宮本臣久、学校教育課学務係長 小林洋一
- 1 付議案件 なし
- 2 報告事項
（1）報告第12号 教育長報告について
て

- 学校教育課長 改めまして、こんにちは。
時間前ではございますが、傍聴者は10分前に来ることになっておりますが、本日希望者ありませんことを確認しております。
それから、本日の資料は、お配りした資料と中学生の個人戦、団体戦の結果を皆様に本日お配りさせていただきましたので、ご確認をお願いいたします。
時間前ではありますが、皆さんおそろいでございますので、黒田教育長より開会宣言をお願いいたします。
- 教育長 皆さん、こんにちは。
本日の出席委員は4名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから令和4年9月教育委員会定例会を開会いたします。
議事に入る前に、定例会の議事録署名人を指名いたします。田中委員にお願いします。
- 田中委員 はい。

◎報告第12号 教育長報告について

- 教育長 それでは、これより議案の審議に入りたいと思いますが、本日議案はございません。報告事項1件のみとなっております。
報告第12号 教育長報告について、私から報告させていただきます。
報告第12号 教育長報告について。
資料のほうご覧ください。
定例会教育長報告ということで、そちらに書かせていただきました。
まず、新型コロナウイルス感染症拡大への対応等について、現在の状況について簡単に触れておきたいと思っております。
まず、9月1日、コロナ感染者の2学期というか夏休み明けなんですけれども、感染ということで出席、あるいは出席停止になることの欠席者、小学校78人、中学校52人おりました。
それとは別に、コロナ関係自己欠、もちろん出席停止なんですけれども、これはコロナが怖いとか感染したくないということでお休み、出席停止になるんですけれども、これが小学校で21人おりました。中学校は0人です。
現在、9月1日以降のコロナ感染状況ということで、実は結城小学校の4年1組が、9月の21日、22日、3連休前ですが、2日間学級閉鎖がありました。あと、上山川小学校が9月の15日、16日に、3年生1クラスなので、学年閉鎖ということで実施しております。
現在、9月21日と書いてありますが22日まで、今日のはまだちょっと上がってきていないので連休前の9月22日までで、小学校が1人プラ

スになって89人、中学校17人、職員3人の感染が確認されております。大分下火になってきているかなという感じは受けております。

9月は20日、21日、22日の3日間学校へ来たときに、26人感染したんですけれども、26人のうち22人が結城小、結城西小と城南小学校。結城小が7人、結城西小9人、城南小6人ということで、一時期ちょっと結城南中学区の小学校のほうで大分感染拡大したんですけれども、また市街地のほうに戻ってきていると、そんな感じを受けております。

そして、白丸の3つ目ですが、8月23日にガイドラインの改訂がありました。これはもう皆さんご存じだと思うんですけれども、今までは複数人ということで2人くらいで、校医さんとももちろん相談の上なんですけど、学級閉鎖、学年閉鎖をやっていましたが、それを改訂しますということ、大まかに言ってそういうことなんです。同一の学級において、複数の児童・生徒等の感染が確認された場合であっても、その間で感染経路に関連がない場合や、そのほか学級内のほかの児童・生徒等に感染が広がっているおそれがない場合については、学級閉鎖を行わないことも考えられるということで、今までの複数人ということで、結城市では校医さんと相談して、2人プラス発熱者とかそういうのがいた場合には、もうすぐに学級閉鎖、学年閉鎖にしていってまいりましたが、そうではなくて、関連がなければ複数人いても大丈夫ですよということで。

ここで、結城小学校、上山川小学校というのは大体4人ぐらい感染して、プラス発熱者、体調不良者がいたということで、校医さんと相談して学級閉鎖、学年閉鎖等取らせていただいております。

これからも今のところ、校医さんと相談しながら、そういう学級閉鎖等もしあった場合には実施していきたいと思っております。校医さんのほうでもそのことは、こちらのガイドラインの改訂についてはご理解いただいて、どういう状況だったのかということをお学校の先生方と相談しながら、学級閉鎖、学年閉鎖をしているということでもあります。

白丸の4つ目です。

新型コロナウイルス感染拡大を防止するための換気の徹底及びその効果的な実施についてということで、9月5日付の文書で来ているんですけれども、換気をきちんとしてくださいということが改めて来ているというのは、何かやっぱりそういう趣旨があるのかなということで、学校のほうにも換気のほうお願いしますということで指示をしているところであります。

白丸の一番最後です。

5歳以上11歳以下の者に対する新型コロナワクチンの接種について、努力義務が適用されることになりましたが、接種は本人及び保護者の意思で受けていただくものに変更ありません。やらねばならないというのではなくて、やっぱり保護者の方とよく相談しながらということなんです。これも9月8日付の文書で来たところであります。

今のところ、新型コロナウイルス感染拡大についての状況というのはそ

ういうことになっております。よろしく申し上げます。

続きまして、1番、令和4年結城市議会第3回定例会について。

9月7日から9月22日、本会議の一般質問、教育行政につきましては、6人の方から(1)から(6)のような内容の質問がございました。

あとは、常任委員会、教育福祉委員会では、9月14日に常任委員会ありましたが、現地調査ということで、城西小学校の学童クラブの視察に行っていました。これ何かと言ったら、10月1日から民営化ということで、学童保育がそちらに変わるものですから、そちらの視察に行ったということです。

決算特別委員会が9月20日にごさいました。補正予算関係につきましては、教育関係では、そういうことが出ております。

大きな2番です。

行事等実施予定ということで書かせていただきました。

まず、市内新人大会、9月22日、連休前の木曜日に実施されました。そちら、別刷りでプリントしてありますので、後でご覧になっていただければと思います。県西大会が10月12日、13日、県大会が10月25日から開催予定であります。

(2)番、結城朝光の日ということで、学校にもこれちょっと広めてくれということでお伝えしました。10月2日が結城朝光の日だというのは、私はもう全然分からなかったものですから、そういうことでちょっと結城市のためにも、子供たちにぜひ一言話してくださいということで言っております。

何で10月2日が結城朝光の日かと言ったら、源頼朝が1180年に平氏の打倒ということで、石橋山の戦いが終わってから現在の東京の隅田宿というところに来た折に、ちょうど近くに来たというので、源頼朝の乳母だった小山の寒河尼が久しぶりにお会いしたいということで、朝光、当時14歳だったんですけども、朝光を連れてこの隅田宿まで会いに行って、ひどく源頼朝は涙を流して喜んで懐かしんで、じゃ、そういうことだったら私が烏帽子親になってあげましょうということで、10月2日、1180年10月2日にお会いして烏帽子親になったと記されているということが書いてあるそうなんです。小山七郎宗朝、宗朝の朝というのは後に朝光になるんですけども、小山七郎宗朝というのが結城朝光の正式な名前だと。宗朝の朝というのを頼朝の朝を取ったということで。そういうことでお会いして、烏帽子親になったということが10月2日だということで書かれていたことを今読んだだけです。全然知りませんでした。

(3)就学時健康診断が、9月30日から城南小学校を皮切りに開始されます。

(4)紬のふるさと体験授業ということで、10月3日から4日、5日、6日ということで、3つの中学校で開始されます。

(5)番、中学校の文化祭が10月22日、これ3校一緒です。同じ日

に実施されます。

(6) 番、祭りゆうきと、児童・生徒の作品展、あと手をつなぐ子らの作品展が、10月29日、30日に予定されております。

あとは参考なんですけど、11月ですけども、中学校の体育祭は11月3日木曜日、祝日です。小学校の運動会が11月5日土曜日、全部の小学校、9つの小学校全部11月5日ということです。開催の中身については、大体が午前中でお昼は食べないということになると思うんですけども、これは各学校に任せてあります。お弁当食べて午後までやりたいというんだったら、それは教育委員会がやめろとかそういうことは言わないつもりです。露天商に関しては、食べ物まだちょっと規制されているので、自粛してくださいということをお願いしてあります。

来賓ということで、市議会議員さんとか、あとはおそらく教育委員さんのところにも各学校のほうから届くかと思うんですけども、来賓の方にはお知らせしてくださいということがあります。ただし、その中身については各学校のやり方に従っていただきたい。挨拶なしでご紹介のみとか、そういうふうになるかもしれないし、中学校のほうでは開会式もやらないような、そういう学校もありますので、そちらのほうはちょっとご了承いただければと思います。

あと、そちらには載っていないんですけども、令和4年度の少年の主張茨城県大会というのが、おととい土曜日に神栖市でありました。県内から選ばれた10人が神栖市に集まって、少年の主張を発表するというところで、その中で結城東中の須藤美桜さん2年生、この子が「全ての子供に子供時代を」ということで発表しまして、準優勝に当たる茨城県議会議長賞を受賞しました。

これ去年まで、少年の主張は各学校で、市の教育新聞、何かの大会で、青少年の育成市民の会議あたりで多分発表してもらっていたと思うんですけども、県大会にも行けなかったんですね、ずっと長く。それ、篠崎会長さんとも話していて、何か1人ぐらい県大会行ってもらいたいねなんて思っていて、3校の校長先生にもお願いしておいたところ、本当に3校とも指導をよくしてくれまして、その中で結城東中のこの須藤さんという子が2番目の賞を頂いたということで、非常に結城市としてもありがたいなと思っております。

ちなみに、県知事賞を取ったのは明野中学校の3年生の子なんですけれども、これは関東大会行っているんで、テープ審査があって、全国大会までこれあるんですね。昔は皇族の方も来て、本当にすごい大会になっていたんですけども、そういうところに結城東中の須藤さんが第2位になったということで、非常にありがたいことだと思います。すばらしいと思います。ご報告申し上げます。

あと、とちぎ国体、水泳のほうはもう終わったんですけども、水泳で結城東中の村山萌さんという子が、200メートル個人メドレーで5位に

なったということですね。もともと、全国中学校も200メートルと400メートルで6位とか7位とか、本当に相当レベルの高い子だったんですけども、とちぎ国体でも入賞したということで報告いただいております。

私のほうからは以上です。どうぞよろしく申し上げます。

では、ご質問等がありましたらお願いしたいと思っております。赤木委員特に新しいことという話はなかったんですが、やはり不登校対策で、どこの市町村も教育委員会も適応指導教室がうまく機能するようになっていくということで、話題が出てきました。そういう中で、結城はスクールソーシャルワーカーを市として雇っていただいているんだということで、随分子供に対して保護者の相談なんかにも応じる体制ができているんだということで、そういうものが市として扱えればいいですねなんていうお話をいただきました。

以上です。

赤木委員
教育長
赤木委員

よろしいでしょうか。

はい、赤木委員。

1番の議会に関連なんですけど、例えば(1)の給食の無料化、それから(3)番の学校運営協議会制度、(5)の部活動の移行、デジタル教科書について等、その主な質問内容と、市としての答弁としてどういうふうな形で答弁をされたのか、もうちょっと詳しく聞かせていただけるとありがたいんですが。

教育長
学校教育課長

事務局、よろしいですか。

まず、一番初めの学校給食の無償化につきましては、他の市町村では学校給食の給食費について補助を出しているところもあるんですね。結城市の給食費ですと、小学校が月4,250円、中学校が4,650円なんですけれども、そこに500円とか補助してというふうな各市町村があります。結城市では、県内でたしか7番目に高いんですね、給食費が。そのところをどうにかならないかなというふうなご質問でした。ご要望でした。

結城市では、まず第3子、義務教育課程中のお子さんが3人以上いる場合には3人目以降分は無料になっているというふうな現状はございます。

給食費を無料にするということは、それだけ財源がかかることでございますので、今すぐには決められないので今後検討していきますというふうな内容の答弁をさせていただいております。

それから、次の水泳学習指導の民間委託については、今年、結城小と結城西小で行いました。その結果についてどうだったかというご質問がまず一つ。非常に、保護者からも児童からも良いアンケート結果が出ています。

今後どうするのかということだったんですが、やはり使えるプールは使っていきたいなというふうに考えています。いずれ、民間委託にはなるかもしれませんが、今後やはりそれもじっくりと検討していきますというふうなお答えをさせていただいております。

それから、学校運営2学期制、教科担任制、部活動の現状、学校運営協

議会制度について。

まず、2学期制については今年から、今年度から2学期制が正式になりました。前年度は、コロナ禍の影響で臨時的措置で2学期制になったんですけれども、今年になってどうだったということで、授業時間が確保できるとかというふうな利点を説明させていただいて、納得していただいた感じでございます。

教科担任制についても、今現在音楽とかでやっていますので、そちらについて専門の先生方がどんどん小学校に入っていくというふうなお答えをさせていただきました。

部活動の現状については、なるべく民間に移すというのが国の考えですけれども、まずは移すだけの基盤ができていませんので、その辺は徐々に検討していくしかないというふうなお答えをさせていただいています。

学校運営協議会制度につきましては、今現在城西小学校のほうで、ちょっとモデル的に勉強をさせていただいているところでございます。どんどんこれについても国のほうでは進んでいるんですけれども、結城市では学校評議員制度がございますので、それをベースに考えていくというふうな答弁をさせていただいております。

次のフッ化物洗口につきましては、虫歯予防のために、茨城県で各市町村1校以上をモデル的にフッ化物洗口の事業を立ち上げました。結城市では、山川小学校をモデルとして行っております。

これについては、フッ化物洗口については、なぜ集団でやる意味があるのかとか、フッ化物洗口というのは前に常総市等でやったときに、保護者の方の反対があったりもしたんですね。とか、養護教諭さんが洗口液を作るのに大変じゃないのかとかというふうな議員からのご質問がありまして、まず、洗口液についてはある程度の濃度で作っておりますので問題ない。身体的には問題ないので、そこについては大丈夫と。

コロナ禍の影響については、朝の会終了後に週に1回だけ実施するというふうな形を取っております。県の指導でも、週1回で問題ないというふうな形だったので、週1回のみなのでそれほど負担にはなっていませんよというふうなお答えを返させていただいております。

今後については、よく検討していきますというふうなお答えしかちょっとできなかったものですから、県のこれからの動向や、ほかの市の動向を見て考えていきますというふうなことをお答えさせていただきました。

部活動についていいですか。

スポーツ振興課長

部活動移行につきましては、先ほど3番の学校運営のことで大木課長からもお話があったとおり、これから検討していくということなんですけれども、国や県のほうでもまだ方針が決まっていないということで、それを見ながら検討していくということでお答えをさせていただいたところになります。

学校教育課長

デジタル教科書につきましては、今現在も1教科ずつかな、たしか小学

校、中学校で1冊ずつはモデル的に持っているのが現状でございます。

今後なんですけれども、やはり使用上の注意というか、文科省から、教科書見せたら何分間か目を離すようにみたいなものもありますので、それに基づいてというふうなことしかちょっとお答えできませんので、そういった形でたしか答えたと思います。

スポーツ振興課長 続きます、6番の子供たちの健康につながる運動公園についてでございますが、こちらにつきましては、子供たちがそういう体を動かす場所を提供するのにいろいろと場所を多く増やしてほしいというのが大まかな内容だったんですけれども、現在、鹿窪運動公園が中心部にありますので、そちらの施設を充実させて今後進めていくというふうなことでお答えしたのと、あと議員さんのほうでは、日本花の会のほうに何かそういう施設をとというようなご意見だったんですけれども、その点に関しては、日本花の会周辺を整備する上で検討する一つの方向性ということで考えていくというふうなことで、市長からお答えさせていただいたかと思えます。

以上です。

教育長 よろしいですか。

赤木委員 はい、よく分かりました。ありがとうございました。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

中村委員。

中村委員 関連して、途中で説明いただいたフッ化物洗口というの私、何となく分かるんですけれども、これ教育現場というか、導入するに至るまでのそういう経過とか意義とか、そういったものはどのように捉えられているのか、ちょっと知りたいんですが。

教育長 大木課長。

学校教育課長 フッ化物洗口につきましては、まず茨城県で実施したいというふうなことになりました。なぜかという、まず全国で実施していない県が茨城県ともう1県だけなんです。実施した県を見ますと、やはり虫歯の罹患率が下がっているというふうな現状があったようです。

茨城県では、モデル事業として、令和3年度に県内5校だけ実施したようです。令和4年度になりまして、今年度になりまして、全市町村で1校以上をモデル校として実施されたいというふうな要請がございました。

その中で、結城市ではモデル校を選定するに当たり、虫歯の罹患率がちょっと山川小学校さん高かったものですから、山川小学校に実施していただくというふうな形を取りました、というふうな経緯でございます。

中村委員 前からフッ化物どうするとか、よく虫歯予防に、強い歯をつくるということで、かなり前からそういう奨励されてきた経緯があるけれども、たしか先ほどちょっとお話しいただいたように、学校で、じゃ、どういうふうにするかとか、そういうのを家庭でも実施してより効果を上げていくかという、そういうところを考えるとなかなか難しいとか、きちっと取り組まないと効果薄くなるのかなって感じがしましたから。良いことは

やったほうがいいんですものね。

赤木委員　これは県の歯科医師会でも、フッ化物のうがいというのは推奨しているみたいですよ。何かこの10月2日か3日に、アクロスで保坂先生がその講演されるという話……

教育長　地球のステージの中でご講演される予定です。私ももちろん行かせてもらいますけれども。

赤木委員　じゃ、歯科医師会としては推奨しているという方向性なんですね。

教育長　はい。

1990年代におそらく、元の水海道市あたりでかなり大きな問題になって、そこからずっと反対するような団体さんもかなりの数いらっしゃるということで、なかなか県のほうとしても進めることができなかったというのは、そういう経緯があるみたいですね。

赤木委員　反対するというのは、何で反対するんですか。

教育長　先ほど言われたように、フッ化物というのはあくまでもこれは毒だという、そういう考え方で。それはもう全て、県教育委員会も国のほうからも、全く影響はありませんということで、お願いをしているところです。

中村委員　フッ化物というと、どっちかというイメージ的には恐ろしい、自分なんかは恐ろしい感じがするんだけどね。よくは知らないんだけど、でも今あるやつのを良薬というか、良い薬は毒にもなるということと似たような感じがするんだけどね。それは当然、文科省とかも勧めているということはもう、安全性はばっちり保障されているんでしょうけど。ただ、一般的にフッ化物というと何かちょっと怖いなという。

それから自分のイメージでは、フッ化物は天体望遠鏡、市の財産けれども、情報センターに使われているほたる石レンズ、世界最大と言われている、あれがフッ化物なんですよ。だから、イメージ的には良い部分もあるんだけど、個人的にはちょっと恐ろしい感じがするので、今までよく分からない人たちが反対するというのはその辺だと思うんだよね。

良いことはどんどん進める、進めるに当たってはきちんと進めるというのは必要かなと思いますけれどもね。

飯田部長　多分、推奨しているのは、文科省じゃなくて厚労省だと思います。厚生労働省。

学校の教職員の組合的なところからの側面では、やはり今働き方改革が進んでいる中で、劇薬の管理とかそういった希釈液の作成とか、子供たちにやらせる分も含めて、ようは手間がかかるということで、その辺がもしかすると教職員組合のほうからは、学校で集団としてやるというのはいかがなものかというのが提言はされているのではないかというふうに。

中村委員　だからそうですよね、その辺がやっぱり一番問題なんだと思うんだけど、良いことはきちっとやっぱり保護者とか一般に広く知っていただいて、それはやっぱり子供だけじゃなくて大人にも、大人になってもそういった習慣がつくという、そういうことで、歯というのは動物が生きる上で

は一番大事なものですよね。人間は歯を直しますけれども、動物は歯を直しませんからね。歯をやっぱり一番大事に考えていくというのが、やっぱりきちっとした生活を支える基盤になるかなと思うので、こういう歯に関する問題というのは非常に大事だし、やっぱり真剣に取り組んでいく意味は十分あると思うんですよね。

教育長

ありがとうございます。
そのほかいかがでしょうか。

田中委員。

田中委員

コロナ関係の質問2つなんですが、今回国のほうでも、療養期間が10日間から7日間に短縮されたということで、恐らく今までは出席停止期間、子供が感染してしまった場合、本人の出席停止期間10日間と思うんですが、今も変わらずその期間休んでいるんですか。

学校教育課長

今おっしゃったように、7日間に短縮になりましたよね。PCR検査を受けてとなれば5日間というふうな話になっていますので、それを学校の学校医さんのほうにも流しておりますので、恐らく7日間になっていると思います。

田中委員

分かりました。

もう一つ、9月1日現在でコロナ関係自己欠者が21人小学校でいたということなんですが、最新の人数とかはどれぐらいなのかと思って。減ってきたのか、もしくはこのままコロナが怖くて来られないとかと思って。

学校教育課長

ごめんなさい、今ちょっとその資料は持っていないので、後で……。

田中委員

はい。

教育長

中学校が0人で、小学校が21人というのは、何かすごい極端だなと思うんですが。

今、学校でも調べていないのですよね。恐らく、感染者と、あと濃厚接触者の家族だけで、心配だから来ませんということは、多分その中には何人かいると思うんですけれども、把握はしていませんよね。

田中委員

報告というのは任意ということですよ。

教育長

9月1日なので、そのほかの欠席者と同じようにちょっと詳しく調べたという経緯があるものですから。

田中委員

ただ、ラジオ放送でも、もうやっぱり10日間から7日間に短縮されても、感染リスクというのは10日間はあるということで、短縮されてもやっぱり感染管理は徹底したほうがいいというのを今日も聞いたんですけれども、やっぱり学校のほうでも登校してきた後もやっぱりマスクの徹底とかそういったのはしていただきたいと思います。

教育長

再度徹底したいと思います。緩めていいとはどこも言っていないので。

田中委員

そうですね。

教育長

中村委員。

中村委員

行事予定のほうで、就学時健康診断についてなんですが、もうそろそろスタートするんだと思うんですが、これ強制ですよ。

学校教育課長
中村委員

しなければならない、我々はしなくてはならないというふうに……
そうですね。

それで、2点あるんですけども、一つはこれ外国籍の子供さんもですよ。はい。

それと、もう一つは吟味の問題なんですよ。別の自治体ですけども、吟味にかかって、吟味って親は分からないわけですよ、吟味なんて言葉は。それでもう自分に、心配して、要するに吟味にかかったんですよ。どうなっちゃうんでしょうと、そういう心配なんだよね。だからそういうふうに、一般の保護者に思わせるという、そういう状態がよくないんだと思うんだよね。心配をずっとそのまま継続させてしまうという。それでこっちに、自分が教育関係にいるから知っているだろうと思ってこういうふうに、みんなと違う行動で、何か飛び跳ねちゃってどうのこうのって。だから、本人は心配しているわけですよ。だから、そういったことにならないように、うまくその辺を、初めてのお子さんを診断させるような保護者の方もいると思うので、ちょっとその辺心配だったんで。

吟味するのは非常に大事なことなんですよ。そのお子さんが将来就学していくのに、やっぱり極端に言えば特別支援のほうに行くのか、通常に行くのかという大きな問題だと思うので、だからその辺はちょっと神経使ってやっていただくといいかなと思ったもので。

教育長

大木課長、よろしいですか。じゃ、そちらのほう、もっともだと思えますので、ありがとうございます。

岩崎委員、何かありますか。

岩崎委員

補正予算のところで、小・中学校の光熱費が、電気代が約2倍になったということで、これこういう状況下で仕方ないことだと思うんですけども、その括弧の中に、今後太陽光発電の活用というふうに書いてあるんですけども、これは検討されているんですか。学校施設か何かにそういう設備を設置してということ。

教育長

大木課長、何かありますか。

学校教育課長

これ、そうですね。今後太陽光発電とかで電気料部分を賄えないですかというふうなご質問があって、市長のほうからここに書かれているように検討していく、検討していくと言ったのは、今回新しく建てる学校をというふうなことがあったんだと思います。今、統合に向かっている4校、5校を考えても、ちょっとそれは現実的ではございませんので。

岩崎委員

学校内で発電して使うということは非常にいいことと思うし、子供たちの教育にもいいことだと思うんですけども、設備的なところ、今既存の太陽光の設備は、その耐用年数が終わった後の処理の問題とかと、いろいろまだ分からないところがあるので、もし導入するときは、その辺の検討が必要なのかなというふうに思いましたし、もうちょっと、たしか壁に貼るようなシートの薄いタイプのやつがあったりとか、脚、基礎を造ってとかというのではなくてもできるようなものがあったりするというので、

今後さらにそういうのが出てくるんじゃないかと思うので、その辺も含めてよく、施設を設置するのであれば検討されたほうがいいのかなどというふうにちょっと思ったんですけども。

教育長

ありがとうございます。

そのほかいかがですか。よろしいですか。

(「ありません」という者あり)

教育長

ちょっと早いんですけども、以上で教育委員会9月定例会を終了いたします。

ありがとうございました。

午後2時00分 閉 会

上議事録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

結城市教育委員会教育長

結城市教育委員会委員